

長浜の連合自治会(425自治会)が要請

一旦白紙に戻し、根本から検討を

協力
を共同
要求
一致
する



長浜市連合自治会の奥沢清秀会長らは、9月12日、高校再編計画(原案)に対する要請を、県知事、教育長、県議会議長に行いました。そこではまず、「再編計画(原案)の策定経過と内容は、長浜市連合自治会として到底、納得できるものではない。まず改革すべきは、県民生活に大きな影響を及ぼす県立高校の統廃合ではない。唐突で十分な議論のない再編計画を、一旦立ち止まり、十分に議論し熟慮する」よう強く要望しています。

その上で、以下3つの問題を指摘しています。

湖北の地域社会の崩壊を招く

私たちは、心地よい地域のコミュニティーづくりをすすめている。今回の再編計画案は、小中学生に地域外への進学を強いるもので、地域の未来を担うべき子どもたちの教育環境を一方的に壊してしまう。湖北の地域社会の崩壊を招く。

十分な時間をかけて市町と論議を

「意見を聴く会」は、一方的な説明に終始し、出席者の質問に明確な回答もなく、議論が尽くされていない。まさに出し抜けに計画を示し大急ぎで策定しようとするもの。これが、県の言う「市町の声をしっかり受け止め……連携をはかっていく県政」なのでしょう

か。定員の減少分120~200人といわれる中学生は、どこに進学するのか。先輩や後輩のいない学校でクラブ活動や文化祭、学校生活はどうなるのか。

現在の計画案を一旦白紙に戻し、市町とも議論を尽くし、再度問題の根本から検討することを要望する。

地域住民の声に耳を傾けて反映を

高校生や中学生にさえ、計画の内容が知られていない。地域の高等学校の存在は、地域住民の活力の源であり地域全体の核とも言える。不十分な議論で事態が進行すれば、学校にとつても地域にとつても悲劇的な結末をもたらし、県に対する地域住民の信頼は大きく損なわれる。

県は、これを無視するのか

長浜市の連合自治会は、425の自治会で構成されており、全市民を包含するもっとも大きな組織です。今回の要望は、極めて大きな意味をもっています。県は、これを無視するつもりか。



ストップ高校統廃合速報 2011年度第20号
2011/9/14 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)